

# 第6回 津山市総合計画審議会 次第

日 時 平成27年7月27日(月)  
10時00分～

場 所 津山市役所東庁舎 E302会議室

## 1 開 会

## 2 市民憲章唱和

## 3 報 告 事 項

(1) パブリックコメントの結果について・・・・・・・・・・資料1

## 4 協 議 事 項

(1) 津山市第5次総合計画基本構想(案)について

基本構想(案)について・・・・・・・・・・資料2

### 関連資料

総合計画策定にあたって・・・・・・・・・・資料3

主要指標・・・・・・・・・・資料4

時代の潮流と課題・・・・・・・・・・資料5

## 5 そ の 他

(1) 今後のスケジュールについて

次回開催日 平成27年8月6日(木)10時～12時 本庁2F大会議室

## 6 閉 会

# 津山市総合計画審議会配席表 (平成27年7月27日現在)

\* 敬称 略

美作大学 教授 鷗崎 実  
 津山市小学校校長会 会長 居森 宏治  
 岡山県美作県民局 局長 村木 正司  
 就実大学 経営学部 杉山 慎策  
 津山市保育協議会 会長 土居 義幸  
 津山市消防団 団長 土肥 祥嗣

会長 副会長

--	--	--

津山市PTA連合会  
会長 豊田 昌稔

岡山県津山警察署  
署長 中村 智彦

市民公募委員  
廣本 慎太郎

津山市森林組合  
参事 福田 直樹

津山市愛育委員連合会  
会長 藤本 貴子

津山市老人クラブ  
連合会 会長 藤本 毅

津山市中学校校長会  
会長 本郷 泰洋

中山間地域懇談会  
勝北地域代表 前田 康孝

津山商工会議所  
会頭 松田 欣也

津山市文化連盟  
会長 八木 美佐子

津山青年会議所  
理事長 河原 淳

中山間地域懇談会  
加茂地域代表 副会長 菅田 貞男

市民公募委員  
菊岡 美和

津山市連合町内会  
会長 坂本 道治

久米地域審議会  
会長 杉山 和之

NPO法人つやまNPO  
支援センター 理事長 鈴木 康正

津山市民生児童委員会  
連合協議会 会長 高山 科子

津山市体育協会  
理事長 武川 信吾

作州津山商工会  
会長 田村 正敏

津山市社会福祉協議会  
常務理事 土井 京三

傍聴者席

報道関係者席

--	--	--

つながる地域づくり研究所 専務理事 林 和弘  
 つながる地域づくり研究所 代表理事 一井 暁子  
 津山市政策調整室長 小賀 智子  
 津山市特別理事 常藤 勘治  
 津山市政策調整室参事 明楽 智雄  
 津山市政策調整室 企画主幹 定久 誠

--	--	--

事務局

## 第5次総合計画基本構想（案）パブリックコメントの実施結果について

1 意見提出者数及び意見数 1人 1件

## 2 意見の内容と本市の考え方

番号	受付日時	該当箇所	内 容	市の考え方
1	平成27年7月16日	<p>P3</p> <p>4 開花プログラム (1)ア 子どもが健やかに育つために</p>	<p>東京出身の移住者です。 より食の安全等を求めて移住したい方が多くなっている昨今。津山市はより無機質に給食センターを2カ所に集中させ、自給率は低く、化学調味料も使用し、子どもの食育面や健康面からみてもまるでコンビニ食。 申し訳ないですが、現在の津山市の給食には全く魅力を感じません。食育センターとは名ばかりの内容に、がっかりしているお母さん達も周りに数多くおられます。 移住してから移住相談会等で阿波の魅力は語っておりますが、残念ながら津山の魅力を語るのには正直難しいです。 自給率を例えば80%と他地域より抜きん出れば、子育て世代が移住地を選ぶ際、魅力が増し、確実に候補地の1つに選ばれると思います。 現在の移住希望の方々には、食への意識が非常に高いので、同じ岡山県でも、県南の方が給食の自給率が高く、他にも様々な子育て世代の移住者を意識した対策でより魅力的に映っています。 子育て世代対策として幅広く改善するのは無理でも「食育」だけでも特化出来たなら、移住希望者は勿論のこと、市内在住の子育て世代にも喜ばれるのではと思います。</p>	<p>津山市では、子ども達に魅力あるおいしい学校給食を提供するため、安全安心な食材を、安定的かつ安価に調達するとともに、センター化のメリットを活かした計画的な取組みにより、地場産物の積極的な活用に努めております。 今後、一層の推進を図っていくこととしていますが、今回の提案については、まちづくりについての具体的な提案であり、基本計画等を検討する中で、参考とさせていただきます。</p>

## 主要指標

- 1 人口（人口・階層別・昼間）
- 2 世帯数
- 3 産業別就業者数

# 1 人口（人口・階層別・昼間）

## （1）人口

津山市の人口は、昭和55年以降増加傾向を示していましたが、平成7年（1995年）の113,617人をピークに減少傾向に転じており、平成22年（2010年）の人口（国勢調査）は106,788人となっています。

今後、自然減・社会減が想定されますが、出生数の増加と純移動率を改善させることにより、人口減少の克服に取り組んでいきます。

### 【推計方法】

- ・ 5歳以上の年齢階層の推計は、平成22年国勢調査人口を基準として出生率や純移動率などの仮定値を当てはめて将来人口を計算するコーホート要因法による。
- ・ 0 - 4歳人口の推計においては、子ども女性比及び0 - 4歳性比の仮定値によって推計。

### 人口の推移

（単位：人、％）

	年次	人口	増減数	増減率
実績	平成2年	112,386	-	-
	平成7年	113,617	1,231	1.1
	平成12年	111,499	2,118	1.9
	平成17年	110,569	930	0.8
	平成22年	106,788	3,781	3.4
推計	平成27年	102,689	4,099	3.8
	平成32年	98,852	3,837	3.7
	平成37年	95,000	3,852	3.9

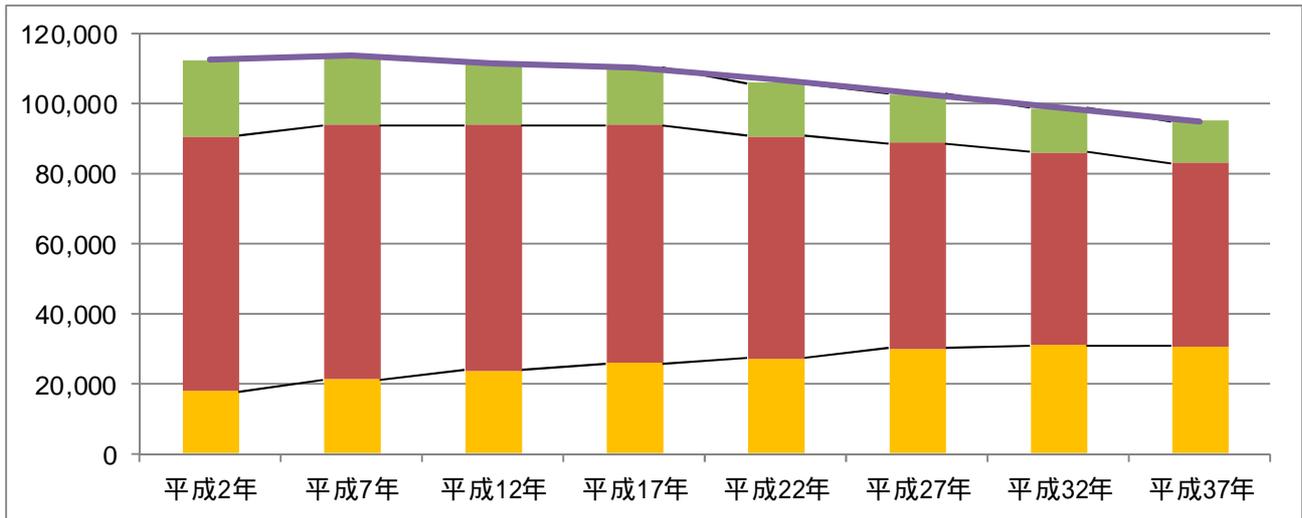
（資料：国勢調査）

## (2) 階層別人口

平成22年における階層別人口を見ると、年少人口15,146人(14.1%)、生産年齢人口63,561人(59.5%)、老年人口27,184人(25.4%)という構成になっており、少子高齢化が進行しています。推計を見ると年少人口、生産年齢人口における人口減が進みますが、老年人口は平成22年から平成37年にかけて7.0ポイントも上昇し、一層の超高齢社会を迎えることが想定されます。

階層別人口の推移

(単位：人)



	実績					推計		
	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年
総人口	112,386	113,617	111,499	110,569	106,788	102,689	98,852	95,000
構成比	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
年少人口	21,516	19,685	17,713	16,618	15,146	13,986	12,764	11,902
構成比	19.1	17.3	15.9	15.0	14.1	13.6	12.9	12.5
生産年齢人口	72,987	72,770	69,958	68,048	63,561	58,683	55,260	52,313
構成比	64.9	64.0	62.7	61.5	59.5	57.1	55.9	55.1
老年人口	17,874	21,145	23,822	25,900	27,184	30,019	30,829	30,785
構成比	15.9	18.6	21.4	23.4	25.4	29.2	31.2	32.4

(資料：国勢調査)

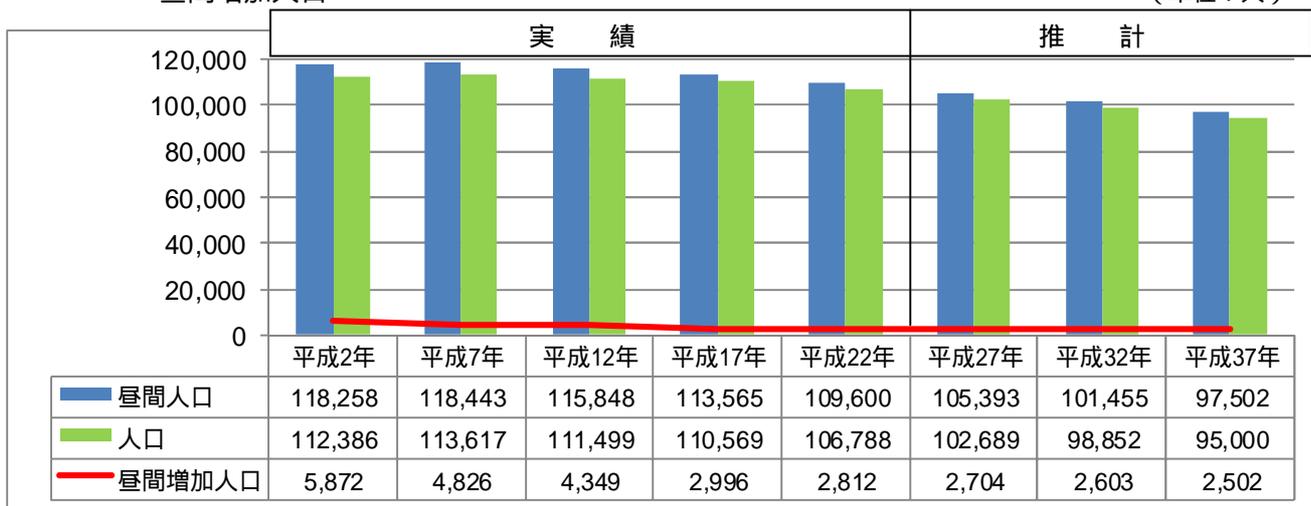
年少人口：0～14歳 生産年齢人口：15～64歳 老年人口：65歳以上  
平成2年～平成22年の総数には「不詳」を含むため、内訳を合計しても総数に一致しない。

### (3) 昼間人口

津山市の昼間人口は、生活圏の中心都市として吸引力が強く、平成12年では人口を約4千人上回っていました。しかし、経年変化を見ると、人口と同様に、平成7年の118,443人、443人をピークに減少に転じています。また、将来的に人口減少が続く場合、昼間増加人口及び昼間人口とも減少傾向を示すことが予測され、昼間人口においては、平成37年には97,502人となり、ピーク時の平成7年より約21,000人の減少が見込まれます。

昼間増加人口

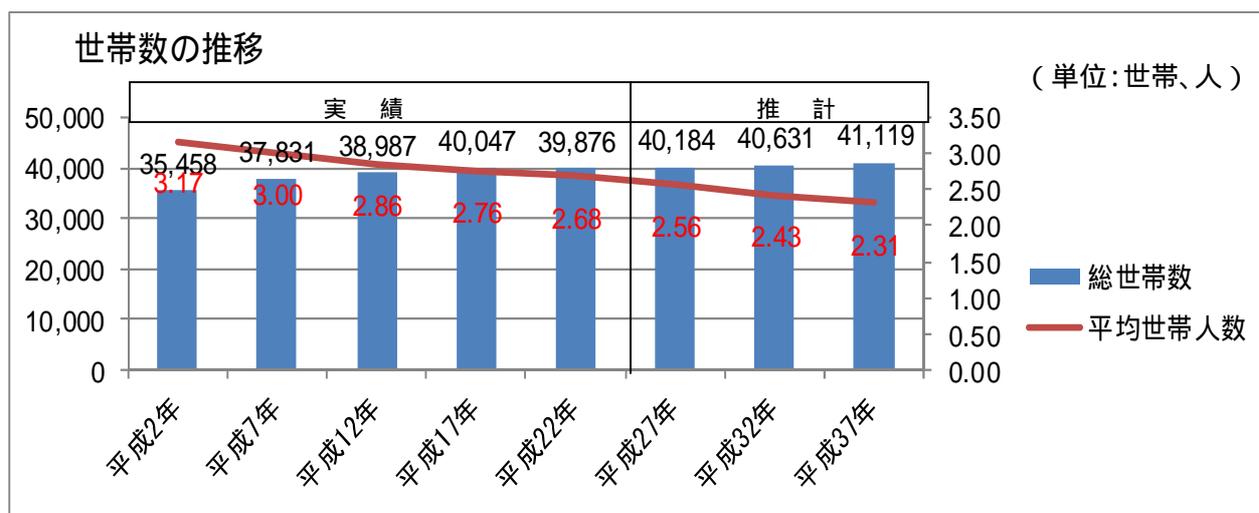
(単位：人)



(資料：国勢調査)

## 2 世帯数

総世帯数については、ほぼ横ばいで推移し、平成22年には39,876世帯となっています。1世帯当たりの人員は減少傾向が見られ、平成22年には2.68人と一層の核家族化が進んでいます。核家族化の傾向は今後も続くものと想定され、平成37年には2.31人と減少し、総人口が減少するものの、世帯数は増加するものと想定されます。



(資料：国勢調査)

### 3 産業別就業者数

産業別就業者数については、平成2年から平成22年までの間、平成7年をピークに減少しています。

今後も生産年齢人口の減少によって、就業者数も減少すると予測されますが、第3次産業の産業別割合は増加すると想定されます。

産業別就業者数の推移

(単位:人、%)

	実績					推計		
	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年
総数	54,992	56,613	54,805	52,842	50,472	47,947	45,665	43,256
構成比	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
第1次産業	5,783	5,293	4,266	4,090	2,982	2,524	2,142	1,808
構成比	10.5	9.3	7.8	7.7	5.9	5.3	4.7	4.2
第2次産業	18,943	19,130	17,995	15,185	13,125	11,787	10,612	9,502
構成比	34.4	33.8	32.8	28.7	26.0	24.6	23.2	22.0
第3次産業	30,247	32,122	32,461	32,923	30,719	29,779	28,942	27,976
構成比	55.0	56.7	59.2	62.3	60.9	62.1	63.4	64.7

(資料:国勢調査)

第1次産業:農業、林業、漁業を統合したもの。

第2次産業:鉱業、建設業、製造業を統合したもの。

第3次産業:電気・ガス・熱供給・水道業、運輸・通信業、卸売・小売業、飲食店、金融・保険業、不動産業、サービス業、公務を統合したもの。

総数には、分類不能産業を含むため、内訳を合計しても総数に一致しない。

## 総合計画審議会開催予定

回数	日にち	曜日	時間	場所	審議内容等	備考
7	8/6	木	10:00~12:00	大会議室	基本構想案審議	基本構想決定
	8/10	月	10:00~10:30	庁議室	基本構想を市長へ答申	答申
8	10/5	月	10:00~12:00	E302会議室	基本計画案審議	諮問
9	10/15	火	10:00~12:00	E302会議室	基本計画案審議	分科会
10	10/19	月	13:30~15:30	大会議室	基本計画案審議	分科会
11	10/26	月	13:30~15:30	E302会議室	基本計画案審議	基本計画決定
	10/29	木	10:00~10:30	庁議室	基本計画を市長へ答申	

非公開のもの以外は、プレスリリース、広報つやま・市HP掲載により随時情報発信します。

## 総合計画審議会開催予定

回数	日にち	曜日	時間	場所	審議内容等	備考
5	7/6	月	10:00~12:00	大会議室	基本構想案審議	諮問
6	7/27	月	10:00~12:00	E302会議室	基本構想案審議	
7	8/6	木	10:00~12:00	大会議室	基本構想案審議	基本構想決定

非公開のもの以外は、プレスリリース、広報つやま・市HP掲載により随時情報発信します。